

**長岡第九小学校 6年生 平和学習
児童の感想まとめ（一部抜粋・原文まま）**

○今日の授業を受けた感想

- ・教科書にはかいてないことについてくわしく聞けて、身近であったことについても教えてもらったので、いい経験になりました。
- ・今日の授業で一番心に残っているのは岡田ヒロ子さんの話です。最後の「死にたくない」と言葉がとてもこわく戦争の悲さんさをあらためて知りました。
- ・今まで、京都は歴史の建造物がたくさんあるから原爆を落とされていないのだと思っていたけれど実際そうではなくて、原爆を落とす予約の土地になっていたのがすごくびっくりしました!!しかも、アメリカもただ単に京都に原爆を落とすのをやめようと思ったのではなく、京都にこうげきをしたらいろんなところから反げきされるかも…としっかり考えこんでこうなったのもびっくりしました。
- ・満州事変とかいろんな戦争がつながって第二次世界大戦いなったと知ってびっくりした。
- ・神足空襲などで戦死した人の思いや家族の人が亡くなったことなどの手紙みたいなのを見て今は平和だけどこんな悲しい思いだったんだと改めて感じました。今改めて戦争は最悪な戦い、人々を不幸にし、何もおかしていないのに亡くなっていくことこれは絶対やってはいけないと思いました。
- ・長岡京市でも、空襲があって、それで亡くなった人がいたということが分かった。三菱ロジスネクストに行ったときにもその話を聞いたけれど、今日みたいにくわしくは聞けなかったので、とてもうれしかった。長岡京市は何も昔はないところだと思っていたけれど、特攻の部品を作っていたということにおどろいた。空襲は学校で習ったしょういだんを使うと思っていたのに、神足空襲では機関銃を使っていたということにびっくりした。
- ・「戦争」と「平和」とは反対のように見えて、とても奥深い意味がこめられていることが分かりました。たとえば、平和とは戦争がないことですが、具体的にになると身分の差別がない、自分の思いを伝えることができるなど平和を達成するのはとても難しいことだと思いました。
- ・神足空襲について、とてもくわしく、細かく教えてもらったので、「神足空襲っていうのがあったんだな〜」という気持ちから、「神足空襲は戦争が続くなか〜〜〜ということだったんだな」と、とても大事なことなんだと教えてもらったので知って本当に良かったと思いました。
- ・空しゅうは、主な都市（例：東京、名古屋、大阪、神戸、福岡等）が受けてしまうものだとばかり思いこんでしまっていたので、こんなに小さくて、人口が少ない所にまで来ると知って、しょうげきを受けました。人間魚雷に乗った人は、必ず死んでしまうと聞いたしゅん間、もしも自分のお父さんや親せき、知り合い等の人々が乗ったら…と思い、背すじが凍りつきました。

○長岡京市でおこった神足空襲についてどう思いましたか。

- ・自分が住んでいるところのほんと近くで空襲があったと知って、とてもびっくりしたし、1名の人が亡くなられたと聞いて、小林さんがいっていたように、後1か月早く終わっていたら、岡田さんを含め、たくさんの命がうばわれてなかったんだらうなと思いました。昔のことだからといって、そのことを知らないままでなく、昔この町で空襲があったということを、伝えていきたいなと思いました。
- ・こんなに身近な所でおきていたのがこわかったです。
- ・昔、神足の地域で空襲があったことも知らなかったし、実際にそういうことが起きたということをしっかり覚えていたと思いました。亡くなった人が一人であっても、みんな悲しい思いをしたり、けがをした人がいたりしたんだと感じました。
- ・まさか、小さいとはいえ長岡京市にも空襲があったというのがおどろいた。
- ・一番心に残っているのは岡田ヒロ子ちゃんの話です。「真っ赤な血がしたたっていた。」という文を見て、空襲がどれほど怖く、おそろしいものかを実感しました。もし、日本が早くこうふくしていれば、ヒロ子ちゃんはもちろん、他の人も元気に生きてくれていたんだらうなと思いました。
- ・神足空襲について知らないことがたくさんあったけど、どんなことが起きたのかを知ることができてよかったし、今回知った

ことをたくさん調べたいと思いました。

・自分たちが住んでいる町に空襲があったと知ってすごくおどろきました。規模は小さかったようですが、1人の女性が亡くなってしまったのは、ものすごく残念です。イスラエルの戦争では数えきれない人が亡くなっているの、なんとも言えないです。

・この小さな市でも空襲があったんだと知りました。規模の小さい爆撃きでも、一人の人が亡くなり、その親や姉などが悲しみ、やっぱり戦争は何か何でもダメなんだと思いました。

・もともと「空襲」がとてもひどくておそろしいことだとわかってはいたけど姉妹の体験した話や手紙の話などをきいて物凄く身近に感じたので戦争や空襲はあってはならないことだと思いました。

○平和な世界になるために、あなたはどんなことができると思いますか。

・戦争をしないと言うのはもちろんだけど、あと、他の国の人を、同じ人間同士だと思い、助け合い、一人一人が自分の意見をしっかり伝え、相手の意見を受け入れると平和な世界になると思います。

・暴力からなくしていきたいと思います。

・人を助けたり、ときには助けられたりして、おたがいに支え合うことが今の私たちにできることだと思う。理由は、助けたり助けられたりを一度すれば、人と人が支え合うことを大切だと思えると思ったし、相手が自分たちと同じ人間だから、困っていたら表情やしぐさで分かることを活用したいと思ったから。

・戦争のないことももちろん大切だけど、小林さんが言っていたように一人一人の命・人格を尊重することが大切だと思います。相手のことを良いように思うことができないからこそ戦争・けんか・「暴力」にもつながってしまうのだから、おたがいの「ありのまま」を大切にすることが今のわたしたちにできることです。平和の大切さもまず理解していなかったり、同じ人間同士としてどんな相手でも敬い続けることも重要だと思いました。口で言うだけじゃむずかしくて実行できない人が多いけど、一人一人が努力できるようになったらいいと思います!!

・どんなことでも、自分のことばかりでなく、まわりのみんなのことまで考えて行動できると良いのではないかと思います。みんな同じ人間なのだから、そのことを忘れないようにしたいです。

・私はたくさんの方が人格、生命を尊重しようと思えるような絵をかいいたり、暴力がどれほどの人の幸せをうばってしまっているかを考えることができると思います。まだ大人ではないから大きなことはできないけど、小さなことでもチャレンジしていきたいと思いました。

・こまっている人がいたら助けてあげる。

・いじめをなくす。いっしょにあそんだりする。人種差別をしない。

・平和な世界になるようにするには、戦争もそうだけど、一人一人が世界の人々のことを考えてみんなが悲しむようなことをしないということなど小さなことでも少しずつ取り組んでいけば、悲しむことの少ない平和をつくることができると思います。私は、戦争をなくすということではできないけど、身近な人との平和はつくれそうだと思います。

・もちろん戦争をしないと言う事も大事だと思うけど、私は差別をなくすと言う事が大事だと思います。みんながだれかをさけたり、人によって態度を変えようと言う事などをしなければ世界は互いに助け合い平和になると思いました。

・私が18才になって選挙権が与えられたら、少しでも戦争に反対している意見を持っていたら、その人に投票をすることです。18才までにできることは募金です。

まずそのことに興味を持ち、世界の人々の状況について知ることも大事だと思っています。ボランティア活動や、募金・家にあるもので支援などがよいと思っています。

・私は戦争とかはけいけんしたことがないけれど、すこしは知っていると思うので、戦争のこわさを教えて戦争がだめだということを伝える。

・自分たちの身近ないじめなどをなくしていくことが平和な世の中につながっていくんじゃないかなと思います。また、お大人になったときに、戦争をなくすための運動や寄付などに参加していくといいんじゃないかなと思いました。

- ・子どもにできることはわからないけど、大人になって国をひっぱっていく側になったときに今回の授業をいかして話し合いをしたりすることができると思いました。
- ・戦争のことを知って理解することで少しでも平和な世界になると思います。
- ・何をしたら相手がどんなことを思うか、自分がされたらいやなことなどをしっかり考えることなら今の自分にできそうだなと思いました。

○その他

- ・市役所の方々へ「平和バーチャル記念館」拝見しました。実際に体験した方々が書いた文章なので、とても説得力がありました。